

(参考様式 1)

## 人・農地プラン

市町村名	地区名	センサス集落名	当初作成年月	更新年月（1回目）	更新年月（2回目）	更新年月（3回目）	地区面積 (農用地面積)
阿武町	久瀬原	久瀬原	平成26年3月	平成28年3月	平成29年12月		5.2ha

### 1. 今後の地域の中心となる経営体（担い手）

属性	経営体 (氏名)	経営者・代 表者の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔平成27年度〕		計画 〔平成32年度〕		農地中間 管理機構 からの借 入希望の 有無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト 化・ 法人化 等の取組	取 組 年 度	活用が見込まれる施策				備考	
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数 等)				青年就 農給付 金(開 始型)	スー パー 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )		
認農 法	(農)福の里 代表理事 市河憲良	69	135	有	経営面積 (大豆) 3.4 (野菜) 1.0	4.4 ha	経営面積 (大豆) 4.6 (野菜) 1.0	5.6 ha	○	低コスト化	H27					○	
	合計 ( )				実面積	4.0 ha	実面積	5.2 ha									

### 2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / 担い手はあるが十分でない / 担い手がいない

### 3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散錯圖を解消する	○
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	
耕作放棄地を解消する	
その他【右欄に自由に記載】	

### 4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
その他【右欄に自由に記載】	

### 5. 近い将来農地の出し手となる者の農地

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状 〔平成〇〇年度〕		計画 〔平成〇〇年度〕		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	
		経営内容 (作目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模の合計 (ha、頭数等)		農地面積	貸付時期
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	
合計		実面積	ha	実面積	ha	ha	ha	

### 6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方 (地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化		久瀬原地区については、(農)福の里へ全域集積しているが、今後法人経営を安定させる為、同地区では大豆を中心とし省力化を図り、低コスト化に繋げていく。
複 合 化		
6 次 産 業 化		
高 付 加 価 値 化		
新 規 就 農 の 促 進		
その他【低コスト化】	○	